

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス スマイルふくしま		
○保護者評価実施期間	～		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の年齢の幅が大きいいため異年齢交流をしやすい。	食育やゲーム大会、季節イベントなどを開催し、年上の子が年下の子と手をつないで行動したり、わからないことを教えてあげたりなど助けあいながら過ごせるように子どもたち同士の交流が増えるように取り組んでいます。	子どもたちの経験を幅がさらに広がるよう、異年齢交流を活かしたイベントを継続的に実施していきます。
2	商店街の中に施設がある。	買い物体験を定期的に行い地域との交流を図っている。	地域の方々との交流機会をさらに広げられるよう、体験活動や地域連携の取り組みを充実させていきます。
3	子どもたちと相談し、食育やイベントを多く企画している。	祝日や土曜日、長期休みなどに食育としてのイベントを企画し、食に対しての興味を持てるように工夫したり、好き嫌いの対応をしています。	一人ひとりのペースを大切にしながら、食への興味や挑戦する気持ちを育てる支援を継続していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	二階建て構造であり、日常的に階段の昇降が必要となる。	台所とトイレが二階に設置されているため、活動や生活導線の中で、階段移動が生じる構造となっている。	安全確保を最優先とし、職員間で連携を図りながら見守り体制を強化している。また、利用者の特性に応じた声かけや導線配慮を行い、事故防止に努めている。今後も安全管理体制の充実を図っていく。
2	施設面積の都合上、静養室や完全に独立した個別スペースの確保が難しい。	活動スペースが限られているため、気持ちの切り替えやクールダウンが必要な利用者に対して、十分な個別空間の確保することが難しい状況がある。	パーティションの活用や少人数対応等の工夫を行い、可能な限り落ち着いて過ごせる環境づくりに努めている。今後も環境設定の見直しを行い、安心して過ごせる空間の確保を目指していく。
3	地域の子ども会主催の行事等への参加機会が十分に確保できていない。	日程調整や支援体制の確保が難しい場合があり、継続的な参加に至っていない状況がある。	図書館の読み聞かせや地域行事への参加等、可能な範囲で地域交流を行っている。今後も地域行事の情報収集を積極的に行い、参加機会の拡充と地域との連携強化を図っていく。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス スマイルふくしま		公表日		2026年 3月 4日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	6	二階建て構造で階段の昇り降りがあるため、転倒防止の手すりや滑り止めシートを設置し、注意喚起の張り紙をしている。	現在のご利用者様には支障はありませんが、車イスでの利用は困難なため、新規のご利用申し込みの際には確認を行います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	2	ひとりになれる空間は無いが、パーティションを使って視野を防ぐように工夫している。	個別の部屋を作るスペースが無い。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	随時話し合える機会を設けております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	相談支援員から助言を頂いています。	現在外部評価は行っていないが、今後検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。			現在利用児童がいないため、作成していない。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。			現在利用児童がいないため、作成していないが、子どもへの共通理解への検討は行っている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。			現在利用児童がいません。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。			現在利用児童がいません。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	スタッフ全員でモニタリング等を行い、立案しています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。			現在利用児童がいません。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	ミーティングを行い、また連絡を密に取るようにして共有しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	必ずその日のうちに記録を書くようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	必ず1人ずつについてのモニタリング会議を開いております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			現在利用児童がいないため、行っておりません。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。			現在利用児童がいないため、行っておりません。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	0		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。			現在利用児童がいないため、行っておりません。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	日々の連絡帳を通して子どもの状況をより明確にお伝えしています。また、電話やLINEでのやり取りも頻繁に行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。			現在利用児童がいないため、行っておりません。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。			現在利用児童がいないため、行っておりません。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	今後は検討して参ります。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	できるだけ迅速に対応するように心掛け、努力しております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	十分に配慮し留意しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	地域の商店街に買い物に行ったり、図書館や神社などの地域施設を利用するようにしている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	入所時や随時、しっかりと確認しスタッフ間でも共有しております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	アレルギーに対してスタッフも知識を持てるように努力しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	事前に計画を立てて、年に2回以上訓練を実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	些細なことでもヒヤリハットを記録し、共有しながら、再発防止に努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0			

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス スマイルふくしま		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の年齢の幅が大きいいため異年齢交流をしやすい。	食育やゲーム大会、季節イベントなどを開催し、年上の子が年下の子と手をつないで行動したり、わからないことを教えてあげたりなど助けあいながら過ごせるように子どもたち同士の交流が増えるように取り組んでいます。	子どもたちの経験を幅がさらに広がるよう、異年齢交流を活かしたイベントを継続的に実施していきます。
2	商店街の中に施設がある。	買い物体験を定期的に行い地域との交流を図っている。	地域の方々との交流機会をさらに広げられるよう、体験活動や地域連携の取り組みを充実させていきます。
3	子どもたちと相談し、食育やイベントを多く企画している。	祝日や土曜日、長期休みなどに食育としてのイベントを企画し、食に対する興味を持てるように工夫したり、好き嫌いの対応をしています。	一人ひとりのペースを大切にしながら、食への興味や挑戦する気持ちを育てる支援を継続していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	二階建て構造であり、日常的に階段の昇降が必要となる。	台所とトイレが二階に設置されているため、活動や生活導線の中で、階段移動が生じる構造となっている。	安全確保を最優先とし、職員間で連携を図りながら見守り体制を強化している。また、利用者の特性に応じた声かけや導線配慮を行い、事故防止に努めている。今後も安全管理体制の充実を図っていく。
2	施設面積の都合上、静養室や完全に独立した個別スペースの確保が難しい。	活動スペースが限られているため、気持ちの切り替えやクールダウンが必要な利用者に対して、十分な個別空間の確保することが難しい状況がある。	パーティションの活用や少人数対応等の工夫を行い、可能な限り落ち着いて過ごせる環境づくりに努めている。今後も環境設定の見直しを行い、安心して過ごせる空間の確保を目指していく。
3	地域の子ども会主催の行事等への参加機会が十分に確保できていない。	日程調整や支援体制の確保が難しい場合があり、継続的な参加に至っていない状況がある。	図書館の読み聞かせ会や地域行事への参加等、可能な範囲で地域交流を行っている。今後も地域行事の情報収集を積極的に行い、参加機会の拡充と地域との連携強化を図っていく。

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス スマイルふくしま

公表日 2026年 3月 4日

利用児童数 20

回収数 15

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	5	1	0	具体的に子どもが活動しているところを見たことがないのでなんとも言えない。	大阪の施設基準は満たしておりますが、適切環境整備を行い広く安全に使っていただけるよう努めます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1	0	2		人員配置基準を満たしております。今後も研修を行い、各職員の専門性を高める努力をして参ります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	0	1	0		手すりの設置はあり、現在利用のお子様には支障ありませんが、新規の利用申し込みがあった際には検討します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	1	0	2		もう少し明るい照明に変えるなど、子どもにとっての快適な空間になるように検討いたします。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1	0	0		日々子どもの様子で心配な事や問題点をミーティング等で話し合い、スタッフ間で共有しております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1	0	0		公表している支援プログラムは、毎年見直し作成しております。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	1	0	0		面談で保護者様の要望や課題を聞いた上でミーティングを行い、個別支援計画を作成しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1	0	0		ひとりひとりに合わせたプログラムを繰り返し行うことで、安心して子どもたちが取り組むことができると考えております。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	0		子どもたちが安心して取り組み積み重ねができるように、日々工夫しながら活動して参ります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1	0	0		個々に合わせた活動内容などを検討し、提案させて頂いております。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11	0	1	3		保護者様の要望を踏まえて検討いたします。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	1	1	0		新規利用時に面談を行い、説明をさせて頂いております。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1	0	0		面談の際は必ず支援内容の書かれた計画書をご用意して説明させて頂いております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	2	1	3		今後検討して参ります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15	0	0	0		毎回の連絡係にて、子どもの様子をお知らせしております。また、保護者様からご連絡頂けるように努力しております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	1	0	0		面談時、またはお電話にてご相談を承っております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1	0	1		職員間の連絡を密にして個々の子どもに合わせた支援ができるように心がけています。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	2	2	3		イベント時などに施設間の交流をさせて頂いておりますが、今後は家族やきょうだいに関しても交流の機会を検討して参ります。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	1	0	0	面談や連絡帳を通じて保護者からのお声を頂けるようにし、また電話でもご相談を承っております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1	0	0	日々の連絡帳や電話もしくはLINEでのやりとりを頻繁に行い、連絡を密に取るように心掛けています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	0	0	0	活動概要や行動予定等については毎月スマイル新聞でお知らせし、自己評価の結果はFacebookで年に一度公表しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1	0	1	個人情報の含まれる書類は鍵付きの書庫に保管し、外部への漏洩がないように細心の注意を払っております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1	0	3	定期的に書面で周知・説明の機会を設けます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1	0	2	年に2回子どもとともに避難訓練を実施しております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1	0	1	毎月ヒヤリハット報告書を作成して、事前に防ぐことができるように安全確保に留意しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	2	0	0	事故時のマニュアルを作成し速やかな対応ができるように通常より心掛けております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	0	1	0	子どもたちが安心し、落ち着いて過ごせるように環境を整え、スタッフの能力向上にも努めて参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	0	1	0	祝日や長期休みなどは、イベントや食レクリエーションなどを子どもたちと相談して開催しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	0	0	1	子どもや保護者のご意見ご要望をお聞きし、支援内容の改善を続けて参ります。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス スマイルふくしま				公表日	2026年 3月 4日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	6	二階建て構造で階段の昇り降りがあるため、転倒防止の手すりや滑り止めシートを設置し、注意喚起の張り紙をしている。	現在のご利用者様には支障はありませんが、車イスでの利用は困難なため、新規のご利用申し込みの際には確認を行います。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	ひとりになれる空間は無いが、パーティションを使って視野を防ぐように工夫している。	個別の部屋を作るスペースが無い。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	随時話し合える機会を設けております。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	相談支援員から助言を頂いています。	現在外部評価は行っていないが、今後検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0			
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	スタッフ全員でモニタリング等を行い、立案しています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		ミーティングを行い、また連絡を密に取るようにして共有しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		必ずその日のうちに記録を書くようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		必ず1人ずつについてのモニタリング会議を開いております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0			
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		定期的に学校を訪問したり電話にて、子どもの様子を情報共有しております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		様々な体験をしてもらおうと考える上で、こういった機会をどのように設けていけば良いか考慮中である。	今のところ行っていないが、今後検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5			福島区に子ども部会がなく、参加する機会がありませんでしたが開催された場合には参加したいと考えております。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		日々の連絡帳を通して子どもの状況をより明確にお伝えしています。また、電話やLINEでのやり取りも頻繁に行っています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0				
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0				
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	1		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	できるだけ迅速に対応するように心掛け、努力しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	十分に配慮し留意しております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	1	地域の商店街に買い物に行ったり、図書館や神社などの地域施設を利用するようにしている。	地域住民を施設に招待するような交流は行っていないが、それに代わる活動を考えています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0	入所時や随時、しっかりと確認しスタッフ間でも共有しております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	アレルギーに対してスタッフも知識を持てるように努力しております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	事前に計画を立てて、年に2回以上訓練を実施しています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	些細なことでもヒヤリハットを記録し、共有しながら、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0			